

2008年6月23日
MR/J24/08



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212
Fax: +81-3-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国連大学、G8と途上国のダイアログを開催

内容： 北海道洞爺湖サミットに向けた G8 と途上国のダイアログ
テーマ： 「アフリカの開発と地球規模の課題：G8 への提言」
日時： 2008年7月1日（火）、午前9時半～午後6時半
場所： 国連大学本部（渋谷区）
主催： 国連大学、国際ガバナンス・イノベーション・センター、G8 リサーチグループ
共催： ギド・カーリ協会、カナダ政府、エステル・トラスト、ジャックマン財団

- 主要先進8カ国（G8）は、2008年7月7日から9日まで開催される G8 北海道洞爺湖サミットの重要なテーマとして、「開発とアフリカ」を取り上げる予定である。このサミットでは、G8 の指導者らと途上国のパートナーが5月に開かれたアフリカ開発会議の成果を評価し、それらの前進をはかるとともに、2015年の期限までにミレニアム開発目標（MDGs）を達成することについても重点的に取り組むことにしている。
- 2008年 G8 サミットが世界やアフリカの開発促進に一層力強く貢献できるような現実的な方法を特定し、それを推進するため、また途上国や開発機関が抱える問題を G8 サミットの準備プロセスに盛り込むため、国連大学、国連ガバナンス・イノベーション・センター、および G8 リサーチグループは、7月1日に G8 と開発途上国のダイアログを開催する。このダイアログでは、特に経済、貿易、保健、平和、安全保障の各分野におけるアフリカの開発に重点を置きつつ、まもなく開催される G8 サミットの目的、計画、展望、可能性の評価を行うことにしている。
- ダイアログの午前のセッションのテーマ。
 - 「G8 の仕組み：サミットの構造とプロセス」
 - 「G8 の実行力：G8 のコミットメントの遵守」
- 午後のセッションのテーマ。
 - 「世界的な開発の課題とアフリカ」
 - 「紛争後の脆弱な社会における経済開発の持続：G8 や国際共同体に何ができるか」
 - 「G8 洞爺湖サミットの展望と可能性：G8 の対応」
- 講演者は次のとおり。クレメント・アディーベ（デポール大学、米国）、アンドルー・F・クーパー、（国際ガバナンス・イノベーションセンター、カナダ）、朱杰进（上海外国语大学、中国）、ジョン・カートン（G8 リサーチグループ、トロント大学、カナダ）、ベセリン・ポポフスキー（国連大学）、高橋一生（国連大学）、コージョー・イェルパーラ（パシフィック大学、米国）。
- 日英同時通訳あり。
- 本ダイアログについての詳細はこちらから。http://www.unu.edu/events/#gdc_200807（プログラムや一般登録申込書もこのサイトから入手可能）。
- 出席できない方のために、「北海道洞爺湖サミットに向けた G8 と途上国のダイアログ」はインターネットのウェブキャスト（<http://c3.unu.edu/unuvideo/?191>）でもライブにて閲覧可能（後日閲覧も可）。

本ダイアログの取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野（やの）までご連絡ください。
電話：03-5467-1311、Eメール：media@unu.edu

MEDIA ADVISORY

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された、本部（東京）を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。